

## 祝！特許庁長官賞受賞

～諦めない姿勢と技術力でつかった「初」の栄冠～

名阪工場のチームが中国電力様と共同研究・開発した「脱硝触媒の研磨再生装置」が「特許庁長官賞」受賞の快挙を成し遂げました。今回はプロジェクトに関わった3名が、成功の裏にあるドラマと未来への展望を語ります。

### 令和7年度 中国地方発明表彰式



名阪工場

K.H さん



専務取締役

N.I さん



名阪工場  
サブマネージャー

R.T さん

最も苦労した点と、それをどのように乗り越えたのか、教えてください。

**N.I**：2017年（平成29年）の資本提携をきっかけに、中国電力様との「火力発電所の触媒再生」に関する共同研究を引き継いでのスタートでしたが……。

**K.H**：中国電力様が求める品質基準は非常に高く、最初は何度やってもうまくいかない日々の連続でしたね。

**N.I**：目指す品質にはほど遠い状態で……。非常に細い穴の中を研磨剤で均一に削る必要があり、その精度は5μ単位。削ってはいけない部分まで削ってしまうなど、技術的なハードルは極めて高いものでした。

**K.H**：なぜ意図しない部分まで削ってしまうのか。どうすれば均一に仕上がるのか。失敗の原因を一つひとつ分析し、解消していくことでしか道は開けないと考え、条件を微調整しては検証を繰り返しました。地道な作業の積み重ねで少しずつできることが見えてきましたね。

チームの連携についてもお聞かせください。

**K.H**：プロジェクトは当初一人でしたが、途中から同期の F さんが参加。私がアイデアを出し、試作などの「モノづくり」を得意とする F さんが形にするという、互いの強みを生かした連携でプロジェクトを推進できました。

**R.T**：ちなみに、N.I 専務をはじめとする経営陣の皆さんはどのような思いで見守っていたのですか。

**N.I**：研究開発は基本的にうまくいかないことが多く、すぐに結果が出るものでもありません。だからこそ、現場が粘り強く挑戦し続けられるよう、長い目で見てサポートすることが役割だと考えていました。こうして振り返ると、数年単位の時間をかけて一つの技術を形にする難しさと重要性をあらためて痛感しますね。



この受賞は当社にとってどのような意味をもつのでしょうか。

**N.I**：中国電力様は年間約100件もの特許を出願されていますが、この賞を受賞されたのは初と伺っています。これまで困難だったことを、当社が協力して成し遂げられたのは、まさに「快挙」と言えるでしょう。

**R.T**：受賞の一報を聞いたときは、これまでの苦労が報われた思いでした。当社の技術力が公に、しかも名誉ある形で認められたことは、社員全員にとって大きな自信になります。

**N.I**：社内には社会的に高い価値を持つ技術がたくさん埋もれています。その技術がしっかりと「特許」として権利化され、表彰という形で評価されることは、会社のブランド向上だけでなく、技術者のモチベーション向上にもつながります。

最後に、未来への展望と全社員へのメッセージをお願いします。

**R.T**：レーザー技術などを応用し、製品の品質を確実に保証できる体制を整え、2027年の本格的な事業化を目指します。前任者たちが築いた財産を、会社の次なる柱へ育て上げる所存です。

**K.H**：プロジェクトを通じ、諦めずに続ければ必ず結果につながると学びました。この経験を自信に変え、今後も新しいことに挑戦し続けていきます。

**N.I**：事業が軌道に乗れば、石炭火力発電所の廃棄物削減とコスト抑制、電力の安定供給に貢献できます。環境にも優しく、さらに日本のインフラを支える意義のある事業です。そして、この事業における当社の技術が、受賞で高く評価されたことは、社員の皆さんが「自分たちも挑戦すればここまでできる」と信じる大きなきっかけになったと思います。



# ハシダ技研工業の2025年

2025年、ハシダ技研工業はどのような歩みをたどってきたのでしょうか？  
世間のニュースと比較しながら、振り返ってみましょう！

## ハシダ技研工業の2025年

3月 トーシンケミテック株タイ工場  
ハシダ技研(タイランド)株式会社へ  
社名変更



3月 三菱重工業株式会社様  
パートナー・オブ・ザ・イヤー受賞



3月 企業版ふるさと納税  
目録贈呈式を実施(FC今治)



3月 経営会議研修会



3月 株式会社MFE HIMUKAとの  
資本提携



1月 資格手当導入

1 JAN.



2 FEB.

1/24 日銀、0.5%への  
追加利上げを決定

日本銀行が政策金利を0.5%へ引き上げる追加利上げを決定。2024年7月以来の利上げで、金利は約17年ぶりの水準となりました。長年続いた金融緩和政策からの出口戦略が進められた年明けでした。

2/10 米トランプ政権、  
鉄鋼などに追加関税

1月に就任した米国のトランプ大統領が、輸入される鉄鋼とアルミニウムに25%の追加関税を課す布告に署名。世界経済の不確実性が高まり、日本の製造業も難しい対応を迫られました。

3 MAR.



4 APR.

4/13 大阪・関西万博、  
ついに開幕

20年ぶりとなる国際博覧会「大阪・関西万博」が開幕。準備の遅れが懸念されましたが、開幕後は「ミヤクミヤク」グッズなどが人気を集め、10月の閉幕まで日本中を巻き込む熱狂の舞台となりました。

5月 企業版ふるさと納税  
目録贈呈式  
を実施(日向市)

5 MAY.

5月 コメ価格が高騰、  
「5キロ5000円」時代へ

2024年の大凶作を受け、コメの価格が高騰。5月にはスーパーマーケットでの平均価格が「5キロ約4400円」と報じられ、食卓にも大きな影響が。「コメ離れ」が加速し、日本の食料安全保障と食文化のあり方が問われました。

6 JUN.

6月 ハシダ技研工業株式会社セレッソ  
大阪のサポーターズマッチを開催



6月 代表取締役会長 橋田寛 逝去



7月 第30回機械要素技術展東京



7 JUL.

7月 映画『国宝』が  
興収170億円超の大ヒット

吉沢亮主演の映画『国宝』が6月6日に公開され、興行収入170億円を突破する歴史的な大ヒットを記録。復習のための原作本購入や、本物の歌舞伎公演に足を運ぶ人も続出し、社会現象となりました。

8 AUG.



8月 7年ぶりに慰安旅行開催



10月 令和7年度中国地方発明表彰  
「特許庁長官賞」を受賞

11月 役員会議研修会

11月 代表取締役会長 橋田寛 お別れ会開催



11月 TL研修会開催



10 OCT.

10/4 高市早苗氏、  
憲政史上初の女性総理に

自民党総選挙で高市早苗氏が新総裁に選出され、憲政史上初の女性総理大臣が誕生。直後には公明党が連立離脱を表明し、「戦後80年」の節目に大きな転換点を迎えました。



11 NOV.

12 DEC.

世の中の2025年